

小笠原群島鴉島における新繁殖地形成事業の結果について (デコイ・音声装置の設置・普及啓発)

1. デコイ・音声装置の設置運用

(1) デコイ・音声装置設置

- ・ 2008 年 11 月 24 日にデコイ・音声装置を再設置。
- ・ 音声装置は、劣化した接続端子、ケーブル、クランプ等を交換するとともに、落雷対策として避雷器を新たに用意した。
- ・ 接続確認の結果、充放電コントローラーの日照センサー、バッテリー、避雷器に不具合があり、必要な修理、交換、補助ソーラーパネルの追加等を行いつつ、12 月～1 月の間に 3 回接続調整を行った。

(2) 音声装置の運用状況

- ・ 2009 年 2 月 5 日のヒナ移送日から、避雷器を接続せずに稼働させ、5 月 27 日に撤去するまで、山階鳥研が点検・維持管理を行い、音声途切れることなく稼働させることができた。
- ・ また、装置の正常な稼働が確認できたことから、稼働期間中の故障に備え、充放電コントローラー、アンプの予備を用意した。
- ・ 撤去後、避雷器の接続試験を実施し、正常な稼働が確認された。



図 1 デコイと音声再生装置設置状況

上段左はデコイ、上段右は指向性スピーカー、中段左は無指向性スピーカー、中段右はコントロールボックス、下段左はバッテリーボックス、下段右はソーラーパネル

2. 聶島に飛来するアホウドリの観察

- ・ 2009 年 2 月 5 日 15:20 にアホウドリ 1 羽（亜成鳥）が飛来し、デコイと音声装置を設置している場所に着陸した（図 2）。
- ・ その後、2-3 月は飼育地、聶島鳥島で数回、4 月下旬から 5 月上旬までは飼育地で頻繁に、亜成鳥の着陸個体が観察された。
- ・ 少なくとも 3 羽の亜成鳥が聶島周辺に飛来したことが羽色の違いから確認でき、そのうち 2 羽は 4 月 21 日に聶島鳥島で求愛行動を行った。（図 3）。
- ・ 求愛行動を行った亜成鳥 2 羽の片方には金属足輪が付いており、刻まれた番号から、2004 年に伊豆鳥島燕崎繁殖地で生まれた 5 歳の個体であることがわかった。また、この個体は 2008 年にミッドウェイ・サンド島でも確認されている。



図 2 着陸したアホウドリ亜成鳥
(2009 年 2 月 5 日撮影)



図 3 求愛のダンスをするアホウドリの若鳥
(2009 年 4 月 21 日 早川鉄兵氏撮影)
山階鳥類研究所HPより引用

3. 小笠原村における住民説明会等普及啓発の実施

- ・ 2009 年 1 月 23 日に父島で、28 日に母島で実施計画の住民説明会を開催。
- ・ 2009 年 5 月 31 日に父島で、6 月 1 日に母島で実施結果の住民説明会を開催。
- ・ 2009 年 7 月 2 日から小笠原ビジターセンターでアホウドリ写真展、特別展を開催中（10 月中旬まで）。
- ・

